

大阪府青少年読書感想文コンクールの実施にあたりまして応募要項をご案内いたします。
今年も多数ご応募下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 主 催 大阪府学校図書館協議会・毎日新聞社

2. 応募資格 満20歳まで(2004年4月2日以降に出生の者)

3. 応募区分 次の5部10区分とする。

- (1) 小学校低学年の部(1,2年生) 自由読書 課題読書
- (2) 小学校中学年の部(3,4年生) 自由読書 課題読書
- (3) 小学校高学年の部(5,6年生) 自由読書 課題読書
- (4) 中学校の部 自由読書 課題読書
- (5) 高等学校の部 自由読書 課題読書

* (特別) 支援学校は、学年に応じた対応する部門に応募してください。

* 義務教育学校の「前期課程」は小学校の部に、「後期課程」は中学校の部に、中等教育学校および中高一貫校の「前期課程」は中学校の部に、「後期課程」は高等学校の部に、それぞれ応募してください。

* (特別) 支援学校、私立中学、高校については、それぞれの応募要項をご覧ください。

4. 対象図書

- (1) 自由読書 自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。
* 教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌(別冊付録を含む)、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。
- (2) 課題読書 主催者の指定した図書(課題図書)。同一部内における学年指定はありません。
* 課題図書名は、<<https://www.dokusyokansoubun.jp/books.html>>をご覧ください。

5. 用紙・字数

- (1) 原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。校名入り原稿用紙は不可です。
- (2) 文字数については下記のとおりです。
小学校低学年の部(1,2年生)は 本文 600字以上 800字以内
小学校中学年の部(3,4年生)・高学年の部(5,6年生)は 本文 1000字以上 1,200字以内
中学校の部は、本文 1600字以上 2,000字以内
高等学校の部は本文 1600字以上 2,000字以内
- (3) 句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白も字数として数えます。
- (4) 題名は字数に数えませんが、名前、学校名は原稿用紙には書かないでください。(応募票に書きます)

6. 応募作品

- (1) 応募は日本語で書かれた作品に限ります。
- (2) 応募は自由読書、課題読書それぞれに一人1編ずつ応募できます。
- (3) 応募は個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。
他の類似コンクールとの二重応募は認めません。
盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。
- (4) 作品は自筆のものを提出してください。
(コピー・ワープロは不可。自筆不可能な場合は理由を添えてください。)
- (5) 入賞・入選作品の著作権、著作権は主催者に帰属します。
- (6) 作品は理由を問わず返却しません。コピーを保管しておいてください。

7. 作品の応募方法

(1) 児童生徒は必ず在籍校を通じて提出してください。

*＜応募票＞に必要事項を記入の上、作品ごとに右肩をとじてください。

*応募票の記入は本人・保護者で行い、担当(担任)の先生で点検をお願いします。

入賞の場合、応募票に記載の内容で賞状等が作成されます。

(記入不備に起因する誤りの修正は行いません。)

*応募票に記入された名前・学校名・学年・感想文の題名・対象図書名は、毎日新聞社、全国学校図書館協議会、大阪府学校図書館協議会・府下市町村学校図書館協議(研究)会などの刊行物・ホームページで公表することがあります。ご了解の上、ご記入ください。

(2) 応募作品は各学校で所属する地区(市町村・私学など)の「応募要項」に従い審査をしてから、**担当の地区審査へ送ってください。** *地区審査・・・市町村ごとの審査のこと

*各校から各地区審査への応募の際には、**応募作品送付表<各学校記入用>**に、必要事項を記入の上、応募作品とともに同封して送付ください。

*審査は 各学校→市町村・私学小中・支援学校の地区審査→府審査へと段階的に行われます
高等学校については、学校審査を経て、府高図研にて、一括審査が行われます。
支援学校と私立中学校も、学校審査を経て、担当の学校にて、一括審査が行われます。
(各地区審査については、それぞれ応募要項が発表される場合があります)

*地区審査の締切日は、各地区の応募要項に従ってください。(HPの<地区予定>参照)

8. 地区審査(市町村・私学小中・支援学校など)より府審査への応募

(1) 自由読書1、課題読書1を決める。

<課題読書の該当者がいない場合でも、自由読書は1篇だけです>

<自由読書の該当者がいない場合でも、課題読書は1篇だけです>

(2) 市町村・私学小中・支援学校小中より府コンクールへの応募方法について

各地区代表の応募作品の児童・生徒名や題名と、各校審査・地区審査の応募作品数などを、大阪府学校図書館協議会のHP(<https://opsla.org/>)から入力してください。

<注1>入力方法等については、HPに掲載しています。(昨年までとは異なります)

<注2>入力するときのパスワードは、各地区の評議員から代議員を通して連絡します。

(3) 作品・応募票・印刷物(HPから入力したもの)の3点セットを府審査会へ提出する。

9. 府コンクール応募締切 (地区審査の締め切り日ではありません)

令和6年9月30日(月)必着

10. 府コンクール応募先 (地区審査を通過した作品の送り先)

(小・中) 〒581-0842 八尾市福万寺町2-1

八尾市立北山本小学校 校長 高橋 敏博

11. 審査

(1) 令和6年10月16日(水)大阪府学校図書館協議会の審査会で審査します。

(2) 各区分(10区分)とも、特選1編、優秀2編、佳作2編までを入賞と致します。

(3) 府審査での特選10作品は全国コンクールに推薦します。

12. 表彰

令和6年12月7日(土)大阪府私学会館で表彰式を行います。

入賞者は必ず表彰式に出席してください。表彰式のご案内は、在籍校を通して連絡します。

13. 府コンクール問い合わせ先 大阪府学校図書館協議会 事業部

連絡先 〒581-0842 八尾市福万寺町2-1 八尾市立北山本小学校 校長 高橋 敏博

TEL:072-922-2490 FAX:072-997-2360

14. <応募票><応募作品送付表<各学校記入用>>などは、以下の大阪府学校図書館協議会のHPから、ダウンロードできます。

<https://opsla.org/コンクール/感想文コンクール/感想文の募集要項など/>

☆字数制限に注意してください

小学校低学年の部(1,2年生)は 本文 600 字以上 800 字以内

小学校中学年の部(3,4年生)・高学年の部(5,6年生)は 本文 1000 字以上 1,200 字以内

中学校・高等学校の部は本文 1600 字以上 2,000 字以内

<注>この字数制限を満たさない作品(小学校低学年の部で 500 字程度の作文など)は、審査対象にしませんので、ご注意ください。(昨年度にこの事例が数件ありました)

★★次のことはしないでください。NG 集

★NG1 事業部長や事務局長へ問い合わせしてしまうこと。

- ① 市町村ごとに代議員がいます。問い合わせは必ず地区審査担当者か代議員へしてください。
- ② 代議員は自分が担当する市町村の各学校へ、連絡先などを伝えておく。
- ③ 代議員は各市町村の感想文・感想画の審査の仕組みを伝えること。

★NG2 読書感想文を府コンクール応募先に郵送してしまうこと。

- ① 府コンクール応募先に、各学校から直接届いた作品は受け付けません。必ず各地区で審査され地区を通過した作品を、地区審査担当者が府コンクール応募先に送付すること。

★NG3 応募についてのルールを守らないこと。

- ① 締め切り日を過ぎての受付はしない。
- ② 自筆の原稿を提出する。コピーは不可。
- ③ 感想文は、児童生徒自らが構想し記述したものであることを確認してください。一切の剽窃を禁止します。
- ④ 提出する自筆原稿の写しを必ず保管する。
- ⑤ 子どもが特定されない原稿用紙を使用すること
HP に、大阪府 SLA 作成の原稿用紙を掲載しています。

学校名、市町村名、キャラクター、各市町村のマスコット等が認められる原稿用紙は使用不可です。

★NG4 応募票の記入が不正確なこと。

- ① 児童・生徒の作文用紙の題名と応募票の題名が違う。
- ② 必要な事項を誤って記入していたり、一部未記入で送付したりしている。
「応募票の記入のしかた」をHPに掲載しています。

HP の URL は、<https://opsla.org/コンクール/感想文コンクール/感想文の募集要項など/>